

# 令和元年度第4回庁議 会議録

[日 時] 令和元年7月2日(火) 8時58分～9時28分

[場 所] 庁舎応接会議室

[出席者] 市長、副市長、教育長、参与及び各部局長

[会次第]

- 1 市長あいさつ
- 2 議題
  - (1) 平成30年度決算状況について(企画部)
  - (2) 平成30年度水道事業会計・工業用水道事業会計決算状況について  
(上下水道局)
- 3 協議事項
  - (1) 求められる職員像について
- 4 連絡事項
  - (1) まちづくり校区懇談会について
  - (2) その他

## 1 市長あいさつ

6月議会も終了したが、皆さん、対応ご苦労さまだった。

また、「まちづくり校区懇談会」が、7月1日の多喜浜校区から始まる。市民の皆様の生の声を聞くことのできる貴重な機会であるので、より多くの職員が参加できるよう、皆さんからも周知、声掛けを行っていただきたい。

本日は、「平成30年度決算状況について」企画部及び上下水道局から説明をしていただく。

その後、協議事項として「求められる職員像について」議題の提出があったので協議していただく。その他、連絡事項があればお知らせをしていただき、本日の庁議は、10時30分に終了することを目標とする。

議事に入る前に教育長から報告がある。

## 2 議題

### (1) 平成30年度決算状況について（企画部）

市長	<p>それでは、議事に入る。</p> <p>「平成30年度決算状況について」、企画部から説明をお願いしたい。</p>
企画部長	<p>平成30年度決算状況について説明する。</p> <p>まず、一般会計であるが、歳入決算額は475億6,624万5千円、歳出決算額は459億5,600万8千円で、形式収支は16億1,023万7千円の黒字となっている。</p> <p>この形式収支から令和元年度への繰越一般財源を差し引いた実質収支は、10億105万5千円となり、50年連続の黒字決算となっている。</p> <p>次に、主要な基金の状況であるが、財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金については、いずれも平成29年度末と比べて減少しており、平成30年度末の現在高は、財政調整基金が約4億3,200万円減の39億9,979万1千円、減債基金が約1億9,800万円減の5億702万1千円、公共施設整備基金が約2億2,300万円減の4億8,732万2千円となっている。</p> <p>次に、特別会計であるが、住宅新築資金等貸付事業、公共下水道事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業については、黒字決算となっている。うち、公共下水道事業については、4月1日から公営企業法適用のため、3月末で打切決算を行ったもので、歳入歳出差引額1,227万4千円については、法適用後の公共下水道事業会計に引き継ぐ。また、工業用地造成事業については歳入不足が生じたため、繰上充用により対応している。また、その他の会計では、収支ゼロとなっている。</p> <p>最後に、市債の現在高であるが、一般会計が498億4,304万9千円、特別会計が346億8,143万8千円となっており、一般会計、特別会計の合計は、845億2,448万7千円で、平成29年度に比べ、約8億1,487万3千円減少している。</p>

(2) 平成30年度水道事業会計・工業用水道事業会計決算状況について

(上下水道局)

市長	「平成30年水道事業会計・工業用水道事業会計決算状況について」、上下水道局から説明をお願いしたい。
上下水道局長	<p>上下水道局から、平成30年度水道事業会計及び工業用水道事業会計の決算の概要について説明する。</p> <p>まず、水道事業会計の業務量については、給水人口が114,483人で対前年比1,321人の減、給水戸数は55,257戸で33戸の減となっている。</p> <p>また、年間有収水量は18万116m<sup>3</sup>減少しており、使用水量の減少が続いている。有収率は93.7%で前年度を0.5ポイント上回った。</p> <p>次に、収益的収支は、収入が18億3,558万6千円、支出が16億75万9千円で、純利益は対前年比378万4千円減の2億3,482万7千円を計上した。</p> <p>次に、資本的収支は、収入が6億8,999万7千円、支出が16億6,618万9千円で、不足額9億7,619万2千円は損益勘定留保資金で補填した。</p> <p>次に、工業用水道事業会計の業務量については、給水企業数及び契約水量に変更はなく、料金算定分の年間有収水量は8万5,400m<sup>3</sup>の減少となっている。</p> <p>収益的収支は、収入が2億3,054万9千円、支出が1億8,356万円で、純利益は、対前年比2,036万3千円減の4,698万9千円を計上した。</p> <p>次に資本的収支は、収入が1億6,167万4千円、支出が3億522万4千円で、不足額1億4,355万円は、損益勘定留保資金で補填した。</p>

3 協議事項

(1) 「求められる職員像」について

市長	<p>続いて協議事項に入る。</p> <p>「求められる職員像について」、提案者である上下水道局 庄司局長から説明をお願いしたい。</p>
----	---

<p>上下水道局長</p>	<p>「求められる職員像について」説明する。</p> <p>新居浜市の人材育成基本方針で3Cを掲げている。職員に「このような職員が求められている」という強いメッセージを掲げているということは、非常に良い取り組みだと思う。しかし、平成18年に3Cができたときから、個人的には疑問を持っていた。3Cは、Challenge、Cost、Changeであるが、1番目にChallengeをもってきて次にCostでは、チャレンジ精神が薄れてしまうのではないか。他の3Cはどのような3Cが展開されているのか調べると、公共団体では少なく、豊川市の例があった。民間企業には、資料にあるようなものがあった。資料にあるように、民間企業においても、Costをあげている団体はなかった。</p> <p>1番目にChallengeをもってきて次にCostでは、本当にチャレンジできるのか、小さな事ばかりに頭が行くのではないか、そもそも大きな事業などはできるはずもない、と思いがちになると考えた。現に職員提案に関しても大きな話題、夢的な提案は職員の間からは出てきていない。都市間競争を勝ち抜き、個性豊かな独自のまちづくりを進めるために創意工夫というのであれば、あまりにもブレーキのかかるCではないのか、と考えた。</p> <p>市の人材育成基本方針が平成16年災害の直後に策定されたという背景があることはわかるが、これから新たな長期総合計画を立案するうえでも、人材育成の基本方針を見直すことが必要ではないか、という提案である。</p> <p>例えば、Cost コスト意識を持ち市民の視点で行動できる職員ではなく、Collaboration 市民思考で考え、新居浜市のために市民と協働する職員の方がしっくりくるのではないか、協議いただき、できれば人材育成基本方針の見直しをお願いしたい。</p>
<p>総務部長</p>	<p>Costがなぜあがっているか、というと、平成18年の新居浜市人材育成基本方針を掲げた時から、人事の管理のための人事の評価のための、人事考課が始まった。その人事考課のために、新居浜市が理想とする職員の姿として Challenge、Cost、Change という3つのCを掲げた。当時は平成16年大水害等で財政的に緊迫した状況でCostが重きを持っていたということもある。しかし、もう一面、Costがどうして大きな意味を持つかということは、最大の視点として「市民の視点」というものがある。市の業務は</p>

<p>議会事務局長</p>	<p>その多くが市民の税金から成り立っている。私たちの仕事は市民からの提供された税金を、いかに有効的に活用して資産として回していくか、あるいは市の財源として使っていくかということに大きな視点がある。そのために必要なコスト意識、事業や施策に対するコスト意識、自らの人件費等に対するコスト意識、こういことが、市民から見た時に、自分のような職員に対して市民はお金を払うか、という問いかけを職員にもってほしい。そのようなことが仕事の質を高めるきっかけとなる。大きな意味として Cost はこのような意味がある。発想という事に関しては、まず Challenge を掲げて Cost ではブレーキがかかるのではないか、ということも理解できる。しかし、一面 Challenge というものに対しては、ブレインストーミングや豊かな発想というものと、Cost は切り離さなければならない、というものもある。例えば、決算があり、水道会計をこれからどうするか、というときに、耐震工事を進めなければならない、水資源の確保を進めなければならない、そのために経営戦略を決めた。経営戦略とは何か、というと、つまり収支を考えなければならない、具体的な収入の確保を考え、その上で財源投資を考えなければならない。そういった部分というものは、職員として、人材育成の上で、また、目標管理、人事評価の上で現在は大きなウエイトとなっている。</p> <p>ただ、一面で、現在、行政の進めるべき道として、自治体間競争等の中で、考えさないといけないのも理解できる。各企業で上がっているような考えも必要かと思う。</p> <p>総務部としても、この先、例えば今年度中に目標管理を人事評価に導入するという検討も始まっているが、例えば、第6次長期総合計画を考えていく上での理想的な職員の姿、を考えていくことは必要ではないかと思っている。</p> <p>民間とは異なり、我々地方自治体は、『最小の経費で最大の効果を上げるよう努めなければならない』と地方自治法に明記されている。</p> <p>また、行政は、市民が収めた血税で事業実施している以上、市民の最大の関心は、費用対効果であると思われる。</p> <p>市民の関心が高いせいか、3Cについては、過去の本会議質問でも、何度も質問されており、特にコスト意識：費用対効果に重きを置いての質問・答弁が繰り返されている。</p>
---------------	---

<p>総務部長</p>	<p>人材育成基本方針で現在の3Cを掲げ、これまで十数年間やってきてるが、次の段階に目標を変えんとするならば、目標達成できたり、発展的に解消できるものであれば説明できるが、費用対効果・コスト意識重視の視点は、自治体職員にとっての根本精神であり、チャレンジ、コスト、チェンジの順番についてはいろいろな考えがあると思うが、3Cの一つとしてコストを掲げている現状は変えない方が良いのではないか。</p> <p>費用対効果等、議会の今までの説明の経過を考えると、外すのは難しいのではないか。</p>
<p>教育長</p>	<p>今、記述式で上から順番に、Challenge、Cost、Changeが捉えているが、例えば4つ、先ほどのCollaborationというものは、今からの世の中非常に特に、第6次長期総合計画の中で、持続可能な社会の形成ということであれば、行政と市民が協働して働くというものは、それを具現化した精神だと思う。これを記述式にするのではなく、どこが始まり、どこが終わりということではなく、一つの輪の中にこの4つがある、という4Cということは可能なのか。記述式に上から並べるのではなく、輪の中に4つ繋ぐことはできるのか。</p>
<p>市長</p>	<p>所管は総務部で良いのか。3つや4つというこだわりはないのか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>所管は総務部である。数について、特にない。4つにすることも可能かと思う。</p>
<p>経済部長</p>	<p>職員像というものは、時代に応じて変化してくるものだと思う。3Cというものについて、言葉を知っているが、意識として職員の中で薄れてきている。せっきくのチャンスなので、どうするかにしても、職場の中で討議、検討させていただきたい。そのことで、職員の中でも、考える良いきっかけになる。自分自身が再度職員像について考える機会になるので、時間を与えていただきたい。</p>
<p>市長</p>	<p>本日提案があったが、じっくりと考える時間も無い。また、い</p>

	<p>ろいろな意見もあろうかと思うので、一度、総務部で職員の意見等を聞くなどしていただきたい。この機会に、みんなで3Cについて、真剣に考えてもらう、いままで惰性できているところもあるので、考えていただきたい。Costという以前に、3Cについて意識をもっていただきたい。そういう意味でも、この際みんなで真剣に考えて、意見を集めたらどうか。それでみんなで判断したら良いのではないか。方法については、総務部で考えていただきたい。</p>
総務部長	<p>集約方法については、検討する。</p>
教育長	<p>教育の世界で「求められる国民像」ということが出て、誰に求められるのか、ということで議論になったことがある。「求められる職員像」という言葉が引っかかる。よって、それに代わる言葉も併せて考えていただきたい。また、「人材」という言葉について、人が材料で良いのか、ということで引っかかるので、それも含めて幅広く検討していただきたい。</p>
市長	<p>今の意見も含めて職員の意見を集約していただきたい。</p>
上下水道局長	<p>「求められる職員像」ではなく、「目指すべき職員像」として、人材育成方針に挙げているところもある。</p>

#### 4 連絡事項

##### (1) まちづくり校区懇談会について（市長）

市長	<p>私からお願い一つお願いする。</p> <p>昨日からまちづくり校区懇談会が多喜浜校区から始まった。約30名ほどの参加で、だんだん減ってきているように感じる。最低、地域の職員は参加していただきたい。まさに意識の問題で、出席を取るつもりはないが、よろしく願いしたい。</p>
----	--

##### (2) その他

企画部長	<p>組合水道について報告する。</p> <p>本件については、組合水道と新居浜市水道事業の統合に向けて、本年3月27日に確認書を取り交わしたところである。また、</p>
------	---

<p>教育委員会事務局 長</p> <p>市長</p>	<p>9月末日までの統合協定書締結の目標に向けて、去る6月30日に地元説明会を開催した。</p> <p>説明会は、企画部と上下水道局で対応し、約50人の方の出席があったが、統合に対する反対意見は特段なかった。ただし、質疑の中で、統合についての問い合わせに対応できる体制整備の要望等があった。</p> <p>今後、庁内の情報共有を図るため、早急に検討委員会を開催するので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>教育委員会から1件報告する。</p> <p>今年度末で1期目の指定管理期間が終了する新居浜市美術館及び新居浜市総合文化施設の2期目（R2.4.1～R7.3.31）の指定管理者の募集について報告させていただく。</p> <p>公募の目的としては、多くの人が集う地域の憩いの場になることを期待し、地域の文化を支える理念（新居浜らしさのある事業展開、子どもを中心とした文化の担い手づくり、SDGsに関する取組推進）を明確にし、地域芸術文化拠点としての機能を果たすことである。</p> <p>募集要項は7月17日（水）から8月16日（金）までの執務時間中に文化振興課で配布することとしている。</p> <p>他になければ、以上で平成30年度第4回庁議を終わる。</p>
---------------------------------	--